



いいで町

198号

議会だより

公共交通 地方の生活に根差した鉄道

JR米坂線の復旧を



雑草に覆われた線路



手ノ子駅に代行バス

被災前の羽前樫駅

6月定例議会



携帯・スマホからアクセス!

特集 米坂線復旧を	P 2 ~ 3
6月定例会概要 子ども食堂設置	P 4 ~ P 5
町政を問う5名の一般質問	P 6 ~ P 8
第三セクター決算報告	P 11
町民からのメッセージ	P 12

きたJR米坂線

—早期復旧をすすめる活動を—

災害からの3年間

令和4年8月3日

豪雨により112箇所被害
今泉～坂町間が不通となる

8月12日 代行バス運行開始

令和5年

4月25日 JR東新潟支社が米坂線復旧に
86億円 工期5年の見込み発表

4月27日 吉村知事記者会見 災害からの復旧で
ありJRと国が対応を

6月1日 飯豊町地区協議会長会で米坂線復旧に
かかる決議

6月23日 飯豊町議会 早期復旧決議

8月12日 椿駅で未来カフェマルシェ署名活動

8月31日 米坂線整備促進期成同盟会総会沿線11
市町村「鉄道で復旧を」

9月8日 JR・県・自治体が復旧検討会議
復旧費、利用客減少が課題

9月22日 山形・新潟・福島3県がJRに早期全線
復旧を要望

10月24日 米坂線整備促進期成同盟会がJR新潟支
社に復旧要望

12月8日 米坂線復旧小国期成同盟会設立

令和6年

3月25日 「いいで未来カフェ」が2813筆の署名
を後藤飯豊町長に

4月21日 羽前椿駅前にて「米坂線復旧応援ライ
ブ」あべあいこさんら

5月31日 JR米坂線復旧をすすめる飯豊の会設
立総会 参加114団体

8月4日 萩生駅応援ライブ&マルシェ

8月31日 米坂線復活絆まつり(小国町)

9月29日 手ノ子駅応援ライブ&マルシェ

10月7日 米坂線復旧関川期成同盟会設立

11月11日 飯豊町、小国町、関川村でJR米坂線
復旧要望

12月18日 山形県知事への要望

12月25日 新潟県知事への要望

令和7年

2月 米坂線復旧チラシ飯豊町、小国町、関
川村全世帯に配布

進まぬ協議

令和4年8月未曾有の豪雨災害が発生。町内は大きな被害を受け、JR米坂線が今泉駅から村上市坂町駅までの区間が不通となった。こうした状況がまもなく3年になろうとしている。沿線自治体と山形・新潟両県は、「激甚災害としての全面復

旧」を訴え早期復旧を要望してきたが、未だにその協議が進んでいない。早期に結論をという住民も多い。これまでの経過を振り返り、今後の米坂線について考えいきたい。

議論の加速を

JR東日本は「単独運営を前提とする復旧は困難」との見解を示している。そのうえで、これまでに示された復旧費と工事期間、鉄道復旧後の運行試算は以下のとおり。

【鉄道復旧費用】

令和5年4月

③バスへの転換

1.5億～1.9億円

②第三セクター

5.2億～18.8億円

①上下分離方式

12.8億～17億円

【負担額】

【鉄道復旧した場合の運行試算(地元自治体)

工事費 約86億円
工事期間 約5年

その後の議論は止まったままであり、自治体のみを取り組みでは限界がある。公共交通として、国が中心となって復旧議論を加速していただきたい。



復旧の議論の加速を！

地域の生活を守って

JR米坂線復旧を すすめる飯豊の会

114団体 個人65名

住民団体として米坂線の復旧をめざすことを目的に、令和6年5月「JR米坂線復旧をすすめる飯豊の会（会長菅野富士雄町議会議長）」を設立した。令和6年度末で114団

体、65個人に加入いただいた。活動として、山形・新潟両県知事への要望、チラシとのぼり旗を作成し町内に配布、掲示した。

小国・関川の同団体と連携した活動を

本年度は小国町・関



2町1村に全戸配布したチラシ



総会で挨拶する菅野会長

川村との3団体が連携して、国や県、JRに對する要望活動等を行う。復旧の方向が定まっておらず、各首長に對しても早期進展にむけた協議を促していく。

代行バス利用の高校生

町役場玄関前に米坂線早期復旧を訴える大きな垂れ幕とのぼり旗



代行バスを利用し、萩生駅前前で降車した高校生に、代行バス利用の感想を聞きました。

バスに乗っている時間が長くて疲れる。

電車の方が移動が速くその分勉強に時間を使える。

冬季間は西米沢で混んでバスに乗れないことが時々ある。

(屋嶋聞き取り)



一般会計補正予算 1億2814万8千円を増額

一般会計予算総額 75億7847万円

6月定例会の補正予算の主な内容は、道路維持事業の西高峰橋橋梁補修関連事業費5,710万円、観光費の地域観光新発見事業貸付金2,420万円などです。

一般会計補正予算の主な歳入と歳出

(主な歳入)

●道路メンテナンス事業費補助金	3694万円
●物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	2569万円
●地域観光新発見事業貸付元金	2420万円
●財政調整基金繰入金	1900万円
●災害復旧債	1690万円
●商工費補助金	1383万円
●畜産所得向上支援事業補助金	427万円

(主な歳出)

●道路維持事業（西高峰橋橋梁補修関連事業費など）	6950万円
●観光費（地域観光新発見事業貸付金など）	2995万円
●定額減税補足給付金	2350万円
●道路橋梁単独災害復旧事業	1503万円
●緑地等利用施設運営費	1038万円
●商工振興費（白川ダム周辺整備事業など）	737万円
●畜産振興費（畜産所得向上支援事業補助金など）	515万円
●農業経営対策事業費	505万円
●こども食堂	317万円
●林道単独災害復旧事業	300万円
●農業経営高度化支援事業	236万円
●グリーンツーリズム推進事業	200万円

概要

令和7年6月定例会は、6月5日から13日までの9日間の会期で開催されました。一般質問は5名の議員が町政をたどしました。第6日目の議案審議では条例関係が4件、一般会計補正予算（第2号）を含む一般会計補正予算が7件を審査し、また土地開発公社会計決算の報告を受けました。原案のとおり可決しました。

第7日目以降は、総務文教・産業厚生各常任委員会において所管事務調査を行いました。最終日には、追加提案された一般会計補正予算（第3号）などの審査を行い、原案通り可決し閉会しました。



4年間監査委員を務められた伊藤毅氏に感謝を込めて、最終日花束を贈りました。

人事

飯豊町監査委員
住所 飯豊町萩生
氏名 後藤 浩氏
ことら ひろし
の選任に同意しました

子ども食堂を設置する 予算可決

令和7年度

子ども食堂から始まる地域のウェルビーイング実現プロジェクト



子ども食堂は「子どもの貧困対策」ではなく、「子どもからお年寄りまで多様な世代に地域の居場所をつくる」ことを目的としてプロジェクトを実施します。



子ども食堂・子どもの居場所の機能として大事にしたいこと ※さっぽろ「子ども食堂・子どもの居場所づくり」ガイドブックより抜粋

- 1 子どもが安心して過ごし、地域で子どもを育て、見守る場
- 2 子どもや子育て世帯の抱える困難に気づき、働きかけ、支援につなげる場
- 3 子どもが交流や活動を通して、いろいろなことを経験し学ぶ場
- 4 子どもだけでなく、大人も交流を深める地域コミュニティの拠点の場

議案審議の主な内容と質疑

補正予算（第2号）

●子ども食堂の目的

遠藤（芳）議員 子ども食堂に取り組む目的と実施主体、実施内容は、

企画課長

貧困対策で

はなく、子どもからお年寄りまでの地域の居場所づくりでもある。まちづくりセンターで月1回程度多様な団体の協力を得て取り組みたい。

●子ども食堂の要望は

遠藤（純）議員 本町で

要望があるのか。

この事業をどの様に考えているか。

教育長

子どもを地域

全体で育てていくことは重要で子どもの居場所、交流も考えまちづくりセンターを核に人が集うことを目的とする。

●町有財産工事請負費

屋嶋議員 工事請負費

213万円の法定外道

路法面補修と旧中津川

小中学校雪害修繕の内

訳と内容は。

総務課長

118万円

は小白川地区の法面補

修と旧中津川小中学校

の落雪により、2階の

窓ガラスが割れたため

の修繕95万円である。

●交付金の使途は

島貫議員 新しい地方

経済・生活環境創生交

付金は何に使うのか。

商工観光課長

観光資

源を活用して地域経済

の活性化を図る。しら

さぎ荘や白川荘の改修

費用に充てる。

●地域活性化企業人

高橋（勝）議員 負担金

588万円は経営改善

のための2名分のこ

とだが具体的業務内容は。

商工観光課長

1名は

事業内容の見直しなど

経営改善を行うマネー

ジメント業務。もう1

名は料理メニュー開発

などを行う料理業務と

予定している。

●農業経営対策

舟山議員 農業経営対

策事業費240万円の

内訳は。

農林振興課長

農業の

担い手育成確保、地域

農業維持発展のために、

経営改善、農業経営力

の向上を図る人を支援

する。

●水没林受け入れ関連

松山議員 観光施設管

理事業565万円とあ

るが町にとっての利益

はあるのか。全額を町

で支払うべきものなの

か。

商工観光課長 町にと

って利益は数字では出ない。負担の内容については関係団体と協議していきたい。

●農地事業補助金

高橋（亨）議員 やまが

たりフレッシュ&アク

シヨン事業補助金24

0万円の財源内訳は。

農林振興課長 県、町

1/4の補助でそれぞ

れ120万円となる。

●観光、物産商品開発

横山議員 業務委託料

200万円の委託内容

は。

商工観光課長

水没林

関連の物産品や体験商

品の造成、中津川地区

全体の土産品開発であ

る。



ここが聞きたい!



録画中継を見る
ことができます

一般質問で今後の町政を問う

議員名	質問事項	ページ
発言順1 <small>たかはし まさる</small> 高橋 勝 議員	①第3セクターの「抜本的な改革」の内容を問う ②「義務教育学校建設基金創設」の検討結果は	P6下
発言順2 <small>えんどう すみお</small> 遠藤 純雄 議員	①改正農業経営基盤強化促進法で策定が義務付けられた「地域計画」について ②本町は“最悪の事態”の備えができているか	P7上
発言順3 <small>しまぬき ひさお</small> 島貫 寿雄 議員	①町長へ支給される退職金について ②電池バレー構想の明暗とは	P7下
発言順4 <small>まつやま かずよし</small> 松山 和好 議員	①米沢市との共同提案による「脱炭素先行地域」への選定について	P8上
発言順5 <small>えんどう よしあき</small> 遠藤 芳昭 議員	①冬期間限定の高齢者集合住宅の検討を ②防災ラジオの機能を有効に活用すべきでは	P8下

※記載している文章は抜粋したものです。また、質問した議員が自らの責任で執筆しています。

第三セクターの「抜本的改革」の内容は

町長
「地域活性化企業人」に
経営の改革に取り組んで
もらう

改革の内容とは

質問 施政方針にある三セクの抜本的改革の内容とは。

町長 「地域活性化企業人」を採用し、①業務内容の見直し②非効率的な現体制の見直し③経費削減などの業務運営の見直し④低収益事業の整理・縮小を現場に入って取り組んでもらう。

再質問 利用者の意見・声にこそ、経営改善のヒントがある。声の拾い上げを行い、今後の経営に反映を。
町長 意見の吸い上げ

は、今後行ないたい。

基金創設の結果と開校時期の決定は

質問 3月定例会で提案した「義務教育学校建設に係る基金創設」の検討結果は。

町長 義務教育学校の開校時期決定後に「仮称」義務教育学校開校準備基金」を創設したい。

再質問 12月に開校時期を決定し、新年度予算から積立ができるようにしてはどうか。
町長 年度末の決定ではなく、提案にあったように、開校時期の決

定は、12月を目標にしたい。

校名の最終結論を

質問 議会の議決を経た校名(いいでの森学園)について、今でも町内に色々な声がある。開校時期決定と同時に、校名論争に終止符を打つべく最終結論を。

町長 校名の最終決定を12月の開校時期決定と同時にしたい。そのためにも校名に関して、どこからどれくらいの声があるのか把握するための、「公聴の場」を設けたい。



たかはし まさる
高橋 勝 議員

「地域計画」。 最悪の事態に対する備えは

町長

地域計画は次世代へ
引継ぐ計画。

「地域計画」と今後の
農業振興、集積は

質問 10年後、誰がそ

れぞれの農地を耕作す
るかを圃場ごとにまと
めた「地域計画」につ
いて、①本町の課題②
計画を基にした農業振
興③今後の農地集積の
目標を伺う。

町長 法律に基づき地
域計画を作成した。10
年後耕作者のいない土
地はなかった。県の集
積率90%を目標に農業
振興と集積を進めたい。

町は最悪の事態の
備えはできているか

質問 本町には「長井

盆地西縁断層帯」とい
う活断層があり、直下
型地震が発生した場合
最悪の備えはできてい
るか。



えんどう すみお 議員
遠藤 純雄

町長 自助・共助の意
識を高め、防災訓練・
避難訓練をとおして意
識向上を図る。被災し
た場合の財政的手立て
は、財政調整基金を一
定額積み立てし対応す
ることを検討したい。



令和4年、6年豪雨災害で復旧の進
む萩生川。諏訪橋から上流を望む。
(2025/06/07撮影)

一期四年毎に支給される町長の 退職金をどの様に考えるか

町長

その金額に見合う仕事を
し町民の理解を得たい

議員には無く、町長に
はある高額の退職金の
性質をどう考えるか

質問 町民は町長の退

職金は退任時のみと思
っている人が多いが。
町長 県内市町村長の
退職金は条例等に定め
られ妥当と考える。

質問 町長の退職金を

ご褒美と称する町長も
いるが嵐町長の考えは。
町長 ご褒美ではなく
四年間の対価だと考え
それに見合う様に、身
を粉にして働く覚悟だ。

質問 問題は成果に応
じた退職金なのかだ。
町に貢献した町長も、
基金を減らし、借金を
増やした町長も同額は
おかしと考えるが。

町長 数字的なものは
仕事をした結果であり
評価は難しい。

電池バレー構想の
明暗その教訓とは

質問 五月に報道され
た「電池バレー構想事
実上終了」の真意は。
町長 当初予定の会社
の貸し工場の使用が叶
わず、専門職大学の学
生募集停止等計画未達
成は事実。一方新たな
産業が生まれ期待が出
来るが「一区切り」と
考えた。

町の顧問弁護士の人
選、選定の基準は

質問 重要案件の正否
の判断を委ねる弁護士
の人選、選定の基準は。



しまぬき ひさお 議員
島貫 寿雄

町長 町では二名の弁
護士と委託契約をして
いる。基準は専門知識、
経験、費用、人柄等多
岐にわたる。

質問 町の顧問弁護

士の一人が破産したセバ
レータデザイン社(株)の
取締役役に付いているが、
ご存じか。
町長 存じ上げない。

これからの最重要プ
ロジェクトとは何か

質問 環境省認定の
「脱炭素先行地域」事
業か。
町長 「暮らし満足度
NO1」の町を目指し
「スタジオ嵐」を開設。
多くの声をこの事業も
含めて反映実現したい。

米沢市との共同提案「脱炭素先行地域」の実現可能性は

町長

環境省、県と協議しながら進めていくことになる。

事業に対する町としての取り組み方は

質問 町民への十分な説明もなく申請されてしまっている米沢市との共同提案である「脱炭素先行地域」の申請がこのたび環境省から採択された。町としてはどういう方向なのか。
町長 12月と2月の議員全員協議会で説明した。住民への説明も5会場でおこなった。事業体制を強化して事業実現に向けて取り組みたい。

まるで電池バレーの二の舞ではないか

質問 住民説明会を行



まつやま かずよし 議員
松山 和好

なったと言っても、肝心の住民がたったの2名か3名程度では説明を行ったことにはならない。議会全員協議会では、採択後に検討しても取りやめできないということ、やむを得ずに申請を承諾したところでのこの事業のエネルギー収支計算、カーボン(炭素)の収支計算、さらには原価償却の見込みがあつてのことなのか聞きたい。

事業としては実施地域にかかる法規制や関係者の同意を得ることが、普通は最初におこなうべきことなのではないか。

電池バレーのように生半可な計画で、最後には多額の借金を住民に押し付けるような事にはならないようにしてもらいたい。町民の中には水道代や町内会費にも苦労している人もいる。

町長 環境省、県も一緒に動いてくれるのでその都度協議しながら進めていきたい。



跳山の既存バイオガス発電施設

高齢者用冬季集合住宅を防災ラジオの有効活用を

町長

空き施設を利用した集合住宅を検討
ラジオの情報伝達に有効活用を検討

高齢者の不安負担を軽減する集合住宅

必要な施設であり重要な政策課題だ

質問 高齢者世帯にとって冬の暮らしは想像以上に大変である。ひとりぐらし等の高齢者の支援策として、冬季間に利用できる「高齢者用集合住宅」を整備する必要がある。

町長 豪雪地における高齢者の暮らしを支えるために、将来的には必要な施設であり、校舎等の空き施設を再利用することも可能かと思う。重要な政策として取り組みたい。



豪雪地の高齢者の冬の暮らしは厳しい

●防災ラジオ
町民生活に必要な情報を届けるラジオに

質問 大雨や避難情報だけでなく、通行止め、水道断水、火災、クマ情報、事件・事故や「消防演習・防災訓練」「交通安全や火災予防週間」などの情報提供も防災ラジオで放送すべきではないか。

情報提供や活用の見直しを協議する

町長 防災ラジオは町民への情報の伝達手段として重要であり、その情報提供や活用の見直しについて関係者と協議していきたい。



えんどう よしあき 議員
遠藤 芳昭

更新される消防団の活動服とは

総務文教常任委員会

各課からの主な報告

◆「重点支援地方交付金の取扱いについて」

西嶋副町長が就任する。物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を目的とする事業となる。交付金による支援の効果が生活者に直接的に及ぶ事業となるように、実施計画を策定し、9月定例会に補正予算を上程予定としている。(総務課)

◆第2回統合準備委員会について

5月15日に第二小学校の校舎見学を行い、委員の方からご意見をいただいた。(教育総務課)

◆行事日程について

めざみの里まつり
実行委員会

6月20日(金)

フェット・ド・ラ・

ミュージック

6月21日(土)

第12回いいでトライ

アングル合唱祭

7月6日(日)

二十歳の集い

対象者…64名

8月15日(金)

(社会教育課)

◆脱炭素先行地域事業について

飯豊町脱炭素推進本部を設置し、本部長に

主な質問と答弁

●活動服の素材は

横山委員 消防団設備整備費補助金で行う高視認性活動服の素材は、また今後、防寒着の整備も必要では。
総務課長 今回更新する活動服は、通気性・難燃に優れた素材となっており、夜間活動時の視認性も高めている。防寒着の整備は、次年度以降に申請を進めた

●開催しての感想は

菅野委員 町民の意見を公聴する「スタジオ嵐」を開催しての感想は。
町長 各年代からご意見をいただいた。将来を担う高校生からは、海外留学制度創設の提案があった。

●保護者の出席は

高橋(勝)委員 毎年二十歳の集いには、2階席から式典を見学している保護者が、少数見受けられる。保護者への案内はどうか。
社会教育課長 昨年末では、本人を送迎された保護者からの要望で見学を許可していた。今年度からは、対象の保護者全員に案内を出す。

●SNSで発信を

島貫委員 若者の多くは町の情報を紙ベースよりSNSで見ている。町ラインの更なる有効活用を考えると。
DX推進室長 町ラインの公式アカウントは昨年3月で一九〇〇人となっている。これらを活用して、町の様々な情報を発信して行きたい。

●公平に支援は可能か

屋嶋委員 物価高騰への支援として交付金が



活動服が更新される

今年は場所を 変えて 黒べこまつり

産業厚生常任委員会

各課からの主な報告

主な質問と答弁

◆いごで黒べこまつり
の開催

日時…7月13日(日)

11:00～14:00

場所…町民総合センター

「あゝす」駐車場

◆プレミアム商品券販売

販売予定日は7月7

日～7月11日。

◆飯豊連峰山形県側山

開き

日時…7月5日(土)

16:30～

場所…小国町梅花皮荘

(商工観光課)

◆飯豊町豪雪対策事業

実施結果

①苗代除雪助成 7件

助成金額合計

47,115円

②融雪剤購入助成

10件

助成金額合計

44,790円

(農林振興課)

◆ゆり園開園

6月14日(土)より開園。

◆きれいな川で住みよ

いふるさと運動

日時…7月6日(日)

5:30～7:00

(地域整備課)



秀峰飯豊山

●小白川地内の天狗山

線復旧予定は

菅野委員 令和4年8

月災害の小白川の天狗

山線の復旧予定はいつ

か。

地域整備課長 地すべ

り対策が6月下旬で終

了予定。その後、町の

予算で着手予定である。

●大日杉登山道の復旧

工事の予定は

高橋(亨)委員 崩落の

ために通行不能になっ

ている登山道の復旧工

事の予定は。

地域整備課長 来年度

の山開き会場が飯豊町

なので、予算化し復旧

復興していく。

●第三セクターの

三セクの経営改善は

遠藤(芳)委員 売上が

増えているにもかかわらず

諸物価高騰のため

に厳しい経営内容であ

る。経営改善を行うよ

う指導すべきでは。

商工観光課長 本年度、

専門家2人を公社に派

遣し、その中で事業全

体の見直しと経営改善

に努めてもらう。

●サウンディング

市場調査について

遠藤(純)委員 フォレ

ストの施設を改修して

貸出す場合の提案を求

めるのか。

商工観光課長 現状で

の貸付け、改修しての

貸付けなどいろいろな

提案を求めている。修

繕する場合には補助金

等を活用する。

●手順が逆ではないのか

松山委員 フォレスト

の今後については、活

用希望者の声に添って、

修繕や改築の対応をす

べきでは。

商工観光課長 募集す

るために修繕箇所調

査をしている。

●黒べこまつり開催地

の変更理由は

島貫委員 開催場所が

変わった理由は。

農林振興課長 会場が

手狭で他の入場者との

混雑を避けるためであ

る。



令和6年度 第三セクター決算報告書

(有)どんでん平ゆり園、飯豊めざみの里(株) …… 単年度黒字
飯豊町地域振興公社、(有)エルベ …………… 単年度赤字

飯豊めざみの里株式会社

(単位：万円)

科 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
売上高	6億6388	7億6432	8億1214
売上原価	4億3180	4億9465	5億2244
販売費・一般管理費	2億4167	2億6266	2億7612
当期収益	▲833	1046	432
繰越損益	▲4023	▲2978	▲2545



飯豊めざみの里

社員数4名増加、大雪による施設修繕、暴風による大テント屋根の修繕などがありましたが、インバウンド客の取り込みやコンビニが周知されてきたことによる集客などにより2年連続の黒字になりました。

有限会社どんでん平ゆり園

(単位：万円)

科 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
売上高	3588	3700	4297
売上原価	976	1105	1299
販売費・一般管理費	2604	2636	2624
当期収益	153	38	375
繰越損益	▲718	▲679	▲304



どんでん平ゆり園

昨年度はユリの生育も順調で、また積雪も少なかったために最盛期が例年よりも5日程度早まり、また、花の持ちもよかったので黒字で終わることができました。

飯豊町地域振興公社 (しらすぎ荘・白川荘・少年自然の家など) (単位：万円)

科 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
売上高	2億6860	3億6211	3億7050
売上原価	7462	7983	8億1822
販売費・一般管理費	2億3799	2億9015	3億1011
当期収益	▲3381	▲528	▲1771
繰越損益	▲1億4984	▲1億5512	▲1億7283



少年自然の家

少年自然の家も当公社の一部門ですが、制度的に来訪者が多ければ多いほど赤字がかさむために、今期も赤字決算となりました。また、しらすぎ荘の修繕もこれからの課題です。

有限会社エルベ

(単位：万円)

科 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
売上高	2857	3167	3353
売上原価	922	1078	1125
販売費・一般管理費	2378	2334	2349
当期収益	▲248	▲259	▲137
繰越損益	▲1692	▲1951	▲2087



レストラン エルベ

今期の売り上げは伸びたものの、材料費などの原価が高騰してきているために赤字決算になりました。

町民からのメッセージ「私からひと言」

〈米坂線復活の思いを歌い続ける〉

第5回

シンガーソングライター あべ あいこ さん(椿)

あべあいこさん



あべさん シンガーソングライターとして、楽曲を作りながら演奏

現在の活動は

あべさん 実家が米坂線のそばにあり、汽車の通る景色をいつも見ていました。高校通学も米坂線だったので、たくさんさんの思い出があります。

「米坂線」とのかかわりや思い出は

議会だよりでは町民の皆様の活躍やご意見を紹介しています。今回はいいで未来カフェ等のイベントなどに積極的に参加され、歌づくりや演奏活動を行っている「あべあいこ」さんです。米坂線復旧への思いをお聞きしました。

活動をしています。また、コミュニティFMでラジオ番組も担当しています。

米坂線の歌に込めた思いは

あべさん 1曲目は令和5年度に「汽車は走る」を作りました。町内の3つの駅を走っていく姿を懐かしみ、未来カフェマルシェで発表しました。

2曲目は昨年、米坂線を応援してくださる方々から、多くの人で歌える米坂線の愛唱歌が欲しいというご要望をいただき「どこまでも続く米坂線」を制作

今後の活動は

しました。米沢駅から坂町駅までの主要駅を盛り込んだ歌詞で、旅の気分になってもらえたらと思っています。

米坂線の沿線に賑わいを作り続けることが大切だと感じています。今年も「未来カフェマルシェ」を8月10日に手ノ子駅周辺というところで西部地区まちづくりセンターで行います。米坂線を復旧してもらいたく、私もあきらめずに歌い続けていきたいと思っています。



故嶋貫栄助議員が叙勲(旭日単光章)を受賞

この度、故嶋貫栄助議員(萩生)が旭日単光章(死亡叙勲)を受賞されました。故嶋貫議員は平成12年から令和元年までの19年間議員として、この間副議長をはじめ産業厚生常任委員長等をお務めいただきました。

議会定例会の傍聴お待ちしています

次回の定例会開催は**9月9日(火)**からの予定です。

インターネットからでも見るができます。議会のホームページでご確認ください。

お問い合わせは議会事務局へ TEL 0238-87-0527

編集後記

今年も梅雨の季節となりました。第198号は新たな試みとして、表紙、2、3ページ、それに最終ページを米坂線復旧関連記事としました。

議会だよりの編集では、短い文章の中、全ての事をお伝えすることは難しいと実感しています。それでも各委員が努力を重ねてきました。

これからも、読んでいただき、ご理解いただけます。お願いします。

(舟山記)

発行責任者 菅野富士雄
議長 菅野富士雄

発行 広報公聴常任委員会
委員長 遠藤 芳昭
副委員長 屋嶋 雅一
委員 舟山 政男
松山 和好
高橋 勝
横山 清彦